
人を殺せぬ殺人鬼・とある話

戯言遣いの弟子

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

人を殺せぬ殺人鬼・とある話

【Nコード】

N1911L

【作者名】

戲言遣いの弟子

【あらすじ】

何故静峻と静羅が『スマッシュハンターズ』の世界に行ったのか

ファン待望の『殺人鬼』です！

とある話

「二人とも」

「…んだよ」

「何です？」

「西の 仮にモハンス島で、正体不明のモンスターが出てるらしい」

「…つまり、何だ」

少し、教官は笑い、

「行ってこい」

「っはあ!？」

「えええええ!？」

「っざけんな!仮に行くとしてもどうやって!？」

「走れ。泳げ。」

「……………」

「冗談だ」

「冗談に聞こえねんだよ…」

「ああそうそう。そこでは沢山の人困り果てている」

「…行かねえぞ」

「君達を待っている」

「…」

「ああ!こうしている間にも何人も人が死んでいる」「行けばいいんだろ!」

「じゃあ、行ってこい」

「お兄ちゃん、また…?」

「悪いか!」

「殺人鬼なのに善人って…」「…何だ、コイツ等…?頭緑体黒緑で手足…?」

「赤も居るよ、お兄ちゃん…」

「~~~~、でもやるんだろ…？ ツ！？」
「大丈夫！？」
「ああ…」
「何だ！？アンタ等！？」
「通りすがりの」
「殺人鬼さ！」
「殺して解して並べて揃えて晒してやんよ！」
「教官！それ俺の台詞！」「知らんな！」
「行つくよ〜！」
教官は、「双影剣」を構え、静峻は「天上天下天地無双刀」、静羅は「ブルーブレイドボウ？」を構え
「……………え」
「鬼神だ…」
「……………はは、面白れえ。負けねえぞ！」
「勝てると思うか？」
「教官、また挑発…」
「本家ハンター、舐めるなよ！行くぞ！」
「お前がリーダーになってどうするよ」
「お前等！着いてこいよ！まずは武器をしまつて、パターンを見るぞ！」
「そんな事をすれば増える一方だ！俺達は行くぞ！」
「おお！」
「行くなー！！」
「ッ！？何故だ！」
「死ぬぜ。今行くと」
「…うん」
「コイツ等の言う通りだ」「~~~~、クソ！」
「タウツタウツタウツ、シュウウ、ドン」
「っあぐー！」
「お兄ちゃん！？」

「銃まで使いやがった…!?!」

「うわああああ!」

「雲だあ!」

「っ!」

ゴールドヴァルキリーを構えたハンターが雲を撃つ。
が。

「っぎやああああ…!?!?!?!」

「黒くなった…!」

「鬼神化!」

双刃イヤクツクを持つハンターが雲に斬りかかる。

「ボシューーン!」

「っし!」

「ちっ!新たに三体もかよ!」

「ブーメランと鉄とデカイヤツかよ!」

「ブーメランは近遠両方、攻撃手段がある!鉄は遠距離攻撃を跳ね返し、デカイヤツはただデカイだけ!以上!QED!」

「静羅は牽制頼む!静峻はデカイヤツだ!」

「OK!」

「ふうっ!」

「くっ、くっ、くっ、ひゅゅゅゅゅゅゅゅ」

「っ当たるかあ!」

「っらああああああ!」

「散鷲!」

静峻は突っ込み、静羅は上空に貫通矢をばら蒔く。

「っっっっ!?!」

「っし、止まった!」

だが、止まったのはほんの僅か。
一瞬だった。

…でも、

「事足りる!」

「ピンクキョウ」

…そうして、白い左手に連れていかれ、カービィやら喋る緑亀に会ったので会った。

とある話 (後書き)

かくして物語は終わりに近付く

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n19111/>

人を殺せぬ殺人鬼・とある話

2010年10月9日01時35分発行